



社協だより

■ ほこたの福祉 ■

社会福祉法人 銚田市社会福祉協議会 茨城県銚田市当間228 TEL 0291-32-5831
ホームページアドレス <http://www.hokotashakyo.or.jp>

第 72 号

平成31年 3月31日発行

発 行 者

社会福祉法人

銚田市社会福祉協議会

会 長 岸 田 一 夫

編 集

調 査 広 報 委 員 会



ボランティア
スキルアップ
講習会



目 次

- 2 P 銚田市社会福祉協議会事業計画
銚田市社会福祉協議会予算
- 3 P 社会福祉協議会が取り組む活動内容
- 4 P / 5 P 福祉の「め」
- 6 P トピックス
- 7 P お知らせ
 - ・心配ごと相談日程
 - ・いきいきスポーツ大会参加者募集
 - ・多くの善意をありがとう
- 8 P 保育所(園)幼稚園児の作品
手と手をつなぐ地域づくり
(諏訪地区)

赤い羽根
共同募金

1月22日(火)社協のボランティアに登録している方を対象にスキルアップ講習会を開催しました。

今回は、全国的に高齢化が進む中、在宅での暮らしに生活支援を必要とする高齢者が増えていくことが予想されているため、ボランティアとして高齢者の生活支援に携わりたい方や、介護知識の向上を図りたい方を対象に実施しました。

第1部の「健康生活支援ボランティア」では簡単な移乗介助技術(立ち上がり、車いす、杖歩行)や支援活動においてリラクゼーションの方法を学びました。

第2部「認知症について学ぼう」では認知症を正しく理解することや、ご家族や地域で温かく見守り、安心して暮らせるまちづくりの紹介がありました。

今後、ボランティアの方々の活動の幅がさらに広がることを期待しております。

赤い羽根
共同募金

このマークのついている事業は、赤い羽根共同募金が活用されています。

平成31年度 銚田市社会福祉協議会事業計画

基 本 方 針

近年、急速な少子高齢化の進行、核家族化の進展とともに、高齢者のひとり暮らしが増加するなど「世帯の縮小」によって家族間の支え合いの力が弱まっています。

また、ライフスタイルの多様化といった中で、近所づきあいに負担を感じる人が増えるなど、地域でのつながりの希薄化にともない、助け合いの力も低下している傾向にあります。

こうした中、若者の不登校や引きこもりの増加、ひとり暮らし高齢者の孤独死、児童虐待、社会的孤立や経済的困窮を要因とする様々な福祉課題・生活課題も顕在化してきています。

誰もが困難な状況に陥る可能性がある今、生活に不安を抱えている世帯への支援は、抱えている問題が深刻化する前に地域で早期に発見され、多様な生活課題が地域で受け止められ、継続的に見守り活動が行われ、そして、課題解決に向けた取り組みが関係機関で連携し、行われるといったような重層的なコミュニティの構築が必要となります。

社会福祉協議会においても、身近な地域での住民のつながり・支えあいなどを基盤とした地域福祉づくりを推進するため、本年度より計画実施となる第3次銚田市地域福祉活動計画（2019～2024）の策定を行いました。

この計画は、銚田市に暮らす方、一人ひとりが地域社会を担う一員として、自分の地域について考え、みんなで「福祉のまちづくり」を進めていくための計画です。

この計画の基本理念、「一人ひとりが主役となり、ともに作る、ふれあいとささえあいのまち・ほこた」を達成するため、各種事業の推進を図ってまいります。

重 点 施 策 事 業

(1) ボランティアの拡充や福祉人材の育成推進

ボランティアの育成や情報提供、新規ボランティアの発掘を行い、研修や交流会をとおり、活動の活性化を図ります。

また、ボランティア講座や福祉体験をとおり、人材の育成に務めます。

(2) 居宅介護（訪問介護）事業の充実及び体制整備

サービスの拡大に向けて、職員体制や就業体系の整備を行います。

また、居宅介護職員対象の研修会を実施し、サービスの向上につなげます。

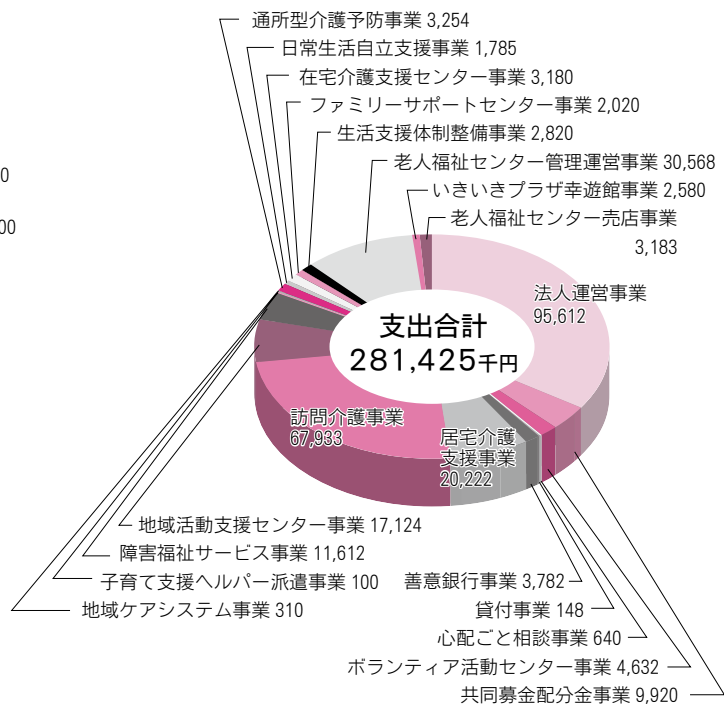
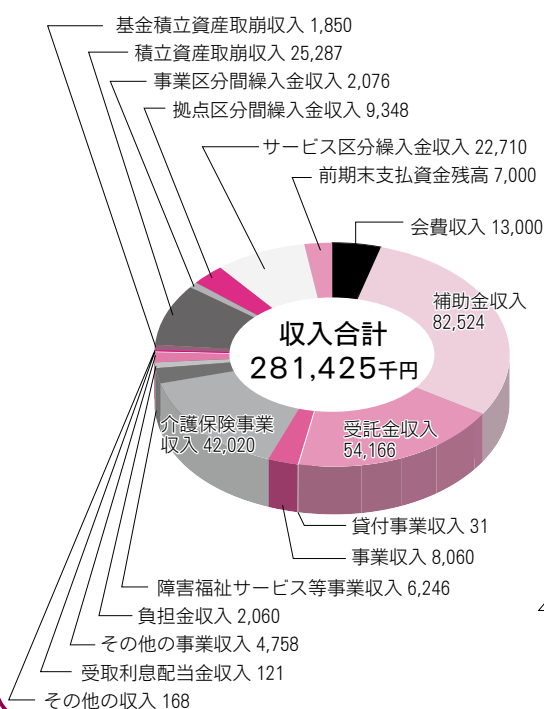
(3) 身近な地域での住民のつながり、支え合い活動の推進

地域福祉活動やサロン活動の拡充を目指します。

また、日常生活支援体制整備や介護予防サービスの充実に向けて、ボランティア等の生活支援の担い手の養成や地域づくり体制の整備に努めます。

平成31年度 銚田市社会福祉協議会予算

(単位：千円)



社会福祉協議会が取り組む活動内容

周知・啓発事業

- 社協だよりの発行(3月・6月・9月・12月)
- ホームページの運営
- 地域づくり講演会の開催



自主財源の確保

- 会員募集事業
- 赤い羽根共同募金運動
- 善意銀行の運営

ボランティアの育成と推進事業

- 腕まくり講座
- ボランティアスキルアップ講座
- ボランティア活動費助成事業
- 福祉体験支援事業
- 福祉活動校支援事業



高齢者福祉推進事業

- ひとり暮らし高齢者サロン事業
- 介護用品支給事業
- 高齢者健康増進事業
- 出前茶サロン



低所得者福祉推進事業

- 緊急入院用具支給事業
- 緊急食材貸付支援事業

障害者(児童)福祉推進事業

- 地域活動支援センター「のぞみ」運営
- 地域活動支援センター「スマイルハウス」運営
- スマイルフェスティバルINほこたの開催

児童福祉推進事業

- ウェルフェアサマースクール事業
- ファミリーサポートセンター事業
- 子育て応援プロジェクト事業



ひとり親世帯等支援事業

- 新入学児童祝品事業

地域・在宅福祉推進事業

- 心配ごと相談事業
- 地域福祉活動助成事業
- 在宅介護支援センター事業
- ふれあいいきいきサロン事業
- 生活支援体制整備事業



居宅介護事業

- 居宅介護支援事業
- 訪問介護事業
- 障害者福祉サービス事業



福祉の「め」

あいさつの大切さ



旭東小学校 6年
窪 菜 里 奈

「おはよう。」

登校して教室に入ると、友達の声をかけてくれます。私もあいさつを返します。すると、なんだか今日も頑張ろうというやる気がわいてきて笑顔になります。

あいさつをするという行動は、簡単なことだけど、とても大切なことです。それは、ちょっとした言葉なのに、気持ちがよくなったり、友達と仲よくなれたりするからです。あいさつは、相手を思いやる気持ちにつながります。友達とすれ違った時、お互いに声をかけずに通り過ぎると、相手の気持ちが見えず、寂しい気持ちになります。もしかしら何か怒っているのかな、

と不安になることもあります。でも、ちょっとした声をかけてくれると、安心するし、とてもうれしくなります。

私は、落ち込んでいた時に、「大丈夫？」

と声をかけられたことがあります。その言葉で、元気をもらった気がしました。何気ない一言に、私は救われたことがあります。声をかけてくれた友達は、大切な友達になりました。

「おはよう。」のあいさつから一日が元気に始まります。「ありがと。」と言われると、また言ってもらえるようになりたいと思います。お互いに「ごめんね。」と言い合うと、友達との関係が深まる気がします。

このように、あいさつは短い言葉だけど、友達との会話のきっかけになり、仲良くなるための第一歩になります。やる気を高め、友情を深めてくれるのです。

私は、どこでも誰にでも元気にあいさつができる人になりたいです。

家族がいるから 強くなれる



当間小学校 6年
田 口 愛 菜

テレビや新聞、インターネットなどを見ていると、毎日のように、青少年による犯罪や非行のニュースを耳にします。どうしてなのだろうと考えたとき、私は、「人と人との心のつながり」について考えました。

私には、家族がいます。私の作ったお菓子を「おいしいね。」と言って食べてくれたり、私が落ちこんでいる時に「だいじょうぶだよ。」と励ましてくれたりします。学校に行けば、友達がいいます。毎日一緒に勉強や運動をし、楽しく過ごすことができています。友達と絆が深まることがとてもうれしいし、安心します。

昨年、災害にあった地域で、ボランティア活動をする人たちをテレビで見ました。みんな力を合わせ、こまっっている人たちを、助けたりしてい

る姿を見て、「すごいなあ。」と感じました。そして、ひ災された人たちが笑顔になっていることに気付きました。

つらいことや、かなしいことがあっても、たがいに助け合い、みんなで力を合わせれば、笑顔があふれてくるのだと思います。

人は、ぜったいに一人では生きていくことが出来ません。人と人との心のつながりがあれば、悪いことが減り、明るい社会になるのだと思います。これから先、私たちが生きていく上で大切な「人と人とのつながり」をいつも心にとめて、みんなと仲良く力強く生きていきたいと思っています。

明るい社会を めざして



諏訪小学校 6年
近 藤 双 葉

私は、アイマスク体験や車いす体験を通して、目や足が不自由な人は、生活する上で

とても不便で大変だということを知りました。そこで、誰でも暮らしやすくなるために、どんな工夫があるのかを調べました。

まず見つかったのは、町にあるさまざまな工夫です。車いすやベビーカーが通りやすいようにスロープがあったり、点字ブロックがあったりして、たくさん工夫があることが分かりました。ユニバーサルデザインについても知り、家の中にも、手すりや、段差を無くすこと、シャンプーを区別する印などがあることが分かりました。

亡くなった私のひいおばちゃんは、足こしが弱くなり、車いすを利用していました。ひいおばあちゃんは、車いすで出かけるのは、段差があると大変だし、とても不安そうでした。楽しいお出かけでも、車いすでは行動が制限されて、ひいおばあちゃんは楽しそうに見えませんでした。そんな様子を見ていて、車いすでも楽しくお出かけができればいいのになと思うこともありました。

誰でも暮らしやすくなるための工夫を調べて、車いすだけでなく、目が不自由な人

ベビーカーを使っている人などさまざまな人が生活しやすいようにたくさんの工夫があることを知り、心が温かくなりました。そして、もっといろいろな工夫や活動が広がり、どんな人でも平等に、安全に、そして楽しく暮らしていけるようにしたいと思いました。私は、みんなが笑顔になる明るい社会をつくるために、自分にできることは何かを考えながら、生活していきます。

ボランティア活動



上島東小学校 6年
飯 島 希 星

上島東小学校のわきには華徳院の汲上観音様のお社があります。

三年生の時、総合の学習で華徳院の住職さんに、観音様のことをいろいろとお話していただきました。昔、汲上海岸に流れ着いた観音様をこの

近くの方がみんなで大切に守ってきたそうです。そして、上島東小学校では、六年生が毎年、観音様のお社のお掃除を手伝っています。

今年も、自分たちで分担を決めて活動をしてきました。銀杏の木のカクレ葉を集めるチームと、境内の七福神様を磨くチームに分かれました。

私は枯れ葉掃除担当でした。熊手などを使い、陰に隠れた所まで一生懸命集めました。全ての枯れ葉を集めると十袋以上になりました。雑草も手分けして抜いていきました。

七福神様を磨く人たちも寒い中、真剣にたわしでこすり、緑のこけを落としていました。バケツにお湯を何度も汲んで来たり、土台や細かいところを丁寧にこすったりして、協力してがんばっていました。終わったときに、友達

が、「七福神様が笑っているみたいだなあ。」

と、つぶやきました。確かに喜んでいてみたいだと私も感じました。最後にみんなでお参りしてふり返るととても清々しい気持ちになりました。今年も六年生で掃除の協力ができて良かったです。

の伝統は上島東小学校の誇りでもあるので、受け継いでいてほしいです。

後日、華徳院の住職さんから六年生に、護摩木を届けていただきました。みんな中学校に行ったら頑張りたいことを書いて、お願いをしました。住職さん、ありがとうございました。



祖父との思い出



旭中学校 3年
大 沼 真 波

僕には、祖父との忘れられない思い出があります。

僕が小学生のとき、祖父は

二階で生活していたので、母が作った食事を僕が運んだり、体を拭いたりする手伝いをしていました。僕が行くと、祖父はいつも大好きな野球の話をしてくれて、とても楽しかったです。

そんな祖父の影響で、僕は地元のクラブチームに入って、野球を始めました。大会など、僕が近場で試合を行うときには、祖父は必ず見に来てくれました。バックネット裏からよく観戦してくれて、その日の夜には、改善点や今度の試合までの目標や練習メニューなども細かく教えてくれました。誕生日には、いつも野球用品を買ってくれて、毎年、自分の誕生日が来るのがとても楽しみでたまりました。

そんな日がずっと続くと思っていた六年生の十一月、ある寒い日のことです。祖父が突然、うずくまり、「お腹が痛い。」と、もともと病気があったお腹を押さえていました。病院へ行くと、胃がんが数か所に転移してしまったようで手術をすることになりました。手術は無事に終わりましたが、祖父の体を拭いたとき、お腹に十五センチメー

トルくらい生々しい縫い跡があり、「まだ痛む。」と言っていました。しばらくご飯が食べられない祖父は、寝ていることが多くなっていました。

一か月が経ち、祖父が少しずつ食事することができるようになり、家族で食事に行くことになりました。そのときの祖父は、ご飯を十粒ずつくらいしか食べられませんでした。食後に祖父に「また一緒に行くこうね。」と約束すると、祖父は微笑んで小さくうなずきました。

しかし、新年を迎え、祖父の病気は悪化し、入院してすぐに他界しました。あの日の約束は果たせなかったけれど、祖父との楽しかった日々を忘れません。今でも、野球の試合の前夜には必ず祖父に線香をあげています。



トピックス

✳ 第 6 回 障がい者福祉施策懇談会開催 ✳

1月24日(木)第6回福祉施策懇談会が開催されました。

銚田市が、障がいのある人も普通に暮らし、地域の一員として共に生きる社会を目指して、障がい福祉サービスをはじめ各種福祉施策の充実及び、障がい者に対する理解が広がるように、市長及び福祉行政担当者と意見交換をする機会として、開催したものです。

参加者から障がい者目線で市庁舎・公共施設の改善など意見交換が活発に行われました。



✳ 銚田市ファミリーサポートセンター フォローアップ講習会 ✳

ファミリーサポートセンターでは、子育ての手助けができる方（協力会員）と子育ての手助けをして欲しい方（利用会員）が会員となり、お互いに助け合って子育て援助を行っています。

センターでは2月5日、協力会員の資質向上と新たな協力会員の養成のため、フォローアップ講習会を開催しました。第1部は「いざという時の応急処置（小児救急講座）」において小児の心肺蘇生法、



AEDの使い方、誤嚥の対処方法を学びました。第2部は「今どきの子育て事情について」において虐待の影響やしつけなど子育てに必要な知識を身につけてお子様を安全に預かれるよう受講していただきました。今回の講習会で新たに2名の方が協力会員に登録していただき活動していただくことになりました。

ファミリーサポートセンターでは、協力会員、利用会員を随時募集しておりますので、お気軽にお問合せください。

✳ ハッピー子育てサロン ✳

銚田市ファミリーサポートセンターでは、銚田市在住で0歳～3歳くらいまでのお子様がいる方を対象に遊び仲間をつくったり、子育てに関する相談などができたりと気軽に楽しみながら集まれるハッピー子育てサロンを開催しました。

今年度は銚田市老人福祉センターともえ荘において8月～2月（全7回）にわたり実施しました。サロンではボランティアの方による親子で楽しめるような音楽や人形劇など披露してもらい、楽しい時間を過ごしていただいています。ぜひ一度親子でご参加ください。



お 知 ら せ

平成 31 年度心配ごと相談日程

相 談 日	開催場所 問合せ・申込先	相 談 日	開催場所 問合せ・申込先	相 談 日	開催場所 問合せ・申込先
4/18	銚田中央公民館 社会福祉協議会 銚田本所 ☎ 0291-32-5831	5/16	旭地区学習等供用施設 社会福祉協議会旭支所 ☎ 0291-37-3571	6/20	大洋公民館 (6・9月) 大洋保健センター (12・3月) 社会福祉協議会 大洋支所 ☎ 0291-34-5200
7/18		8/22		9/19	
10/17		11/21		12/19	
1/16		2/20		3/19	

- ・弁護士による無料法律相談です。
- ・相談時間 午前 10 時 40 分～午後 2 時 40 分
- ・定員 9 名になり次第締め切りとさせていただきます
- ・事前予約が必要となります。

平成 31 年度いきいきスポーツ大会 参加者募集

<旭地区>		<銚田地区>		<大洋地区>	
参加資格 旭地区在住で 60歳以上の健康な方		参加資格 銚田地区在住で 60歳以上の健康な方		参加資格 大洋地区在住で 60歳以上の健康な方	
種 目 ○輪投げ・クロッケー・グラウンドゴルフ 開 催 日 5/15(水) 9:00～ 申込締切 4/19(金) ○ペタンク 開 催 日 6/6(木) 9:00～ 申込締切 5/24(金) 開催場所 銚田市旭スポーツセンター 参 加 費 200円/人 申込先 市社会福祉協議会旭支所 ☎ 37-3571		種 目 ○輪投げ・クロッケー・ゲートボール・ ペタンク・グラウンドゴルフ 開 催 日 5/22(水) 9:00～ 申込締切 5/14(火) 開催場所 銚田総合公園 参 加 費 200円/人 申込先 市社会福祉協議会銚田本所 ☎ 32-5831		種 目 ○輪投げ・グラウンドゴルフ 開 催 日 5/9(木) 9:00～ 申込締切 4/22(月) ○クロッケー・ペタンク 開 催 日 5/30(木) 9:00～ 申込締切 5/22(水) 開催場所 銚田市大洋運動場 参 加 費 200円/人 申込先 市社会福祉協議会大洋支所 ☎ 34-5200	

多くの善意をありがとう 期間:平成30年12月11日～平成31年3月10日現在

善 意 金

●福祉一般へ預託	
篠原 幸男さん	10,000円
元木 勘五郎さん	100,000円
銚田地区民生委員児童委員協議会 (12月・2月)	5,571円
銚田ロータリークラブ	15,000円
銚田市文化協会	20,000円
鹿行法人会 銚田地区青年部会	10,000円
匿名	23,492円
●老人福祉へ預託	
匿名	10,000円
●福祉基金へ預託	
銚田市地域女性団体連絡会	104,258円



善 意 品

所 多美枝さん	タオル63枚、 布巾15枚、未使用ハガキ 5 枚
---------	-----------------------------

田所 敏さん	大人用紙オムツ
築場 吉法さん	大人用紙オムツ 3 袋
木塚 恵子さん	ぬいぐるみ
吉田 憲司さん	米60kg
匿名	大人用紙オムツ 6 袋
匿名	大人用紙オムツ 1 袋
匿名	化粧石鹸30個
匿名	ポケットティッシュ47個
匿名	木工細工(昔の日本家屋)
匿名	大人用紙オムツ 2 袋
匿名	衣類等 計27点

使用済切手・使用済テレホンカード等

銚田市立銚田小学校	使用済切手669枚、 書き損じハガキ43枚
門井 重壽さん	使用済切手
井川 秀作さん	使用済切手
鬼沢ファミリークリニック	使用済切手、 未使用テレホンカード 3 枚
	使用済(残量有)テレホンカード 4 枚
	使用済テレホンカード45枚
(有)北島マシンナイフ	使用済切手
銚田市立旭東小学校	使用済切手

銚田市役所 介護保険課、 社会福祉課	使用済切手
たいようクリニック	使用済切手
銚田市地域女性団体連絡会	使用済切手
匿名	使用済切手、 使用済テレホンカード 7 枚

【思いやり募金】

伊藤理容所	9,700円
洋食亭ときわ	1,862円
久家動物病院	6,940円
いち政	2,533円
札クリニック	6,932円
ミートセンター菊地	2,355円
ファミリーマート銚田中央店	65円
グリルあらの	30,613円
ヤマデン新銚田店	1,812円
ばんどう太郎銚田店	3,437円
オジマ洋品店	3,544円
ほっとパーク銚田	8,310円
銚田市更生保護女性会会員	6,758円
ともえ荘	518円
社協銚田本所事務所前	3,796円



銚田市立第二保育所 5歳児（きく組）

「希望のこころ」

4月からは小学生！新しい校舎、新しいお友達に期待で胸がいっぱいです。みんなに希望でいっぱい未来が待っていますように！

保育所(園) 幼稚園児の作品

あどけない子どもたちが、絵をとおして福祉の「め」を育むことも大切です。

市内の保育所(園)や幼稚園にご協力をいただいております。



「ありがとう」

“大好きな”家族がいてくれるから毎日楽しいです。これからもよろしくね！

青山保育園 5歳児（うめ組）



「みんなともだち！」

にこにこ笑顔で励まし合いながらたくさん遊んでふれあって これからも ずっと ずっと ともだちでいようねという気持ちを込めて作りました。

旭保育園 4歳児（すみれ組）

※掲載地区を募集しておりますので、お気軽にお問合せください。



社協では、地域が自主的に実施する交流事業や健康づくり事業等に対して、補助金を交付しています。今回はその中から一地区をご紹介します。

すわまつり（諏訪地区）

第四回目となる「すわまつり」は、今年度、閉校となる諏訪小学校の閉校記念行事を内容に盛り込み、青空の下、盛大に開催されました。

保護者が作った、豚汁とおこわが来場者に振るまわれ、地域の皆様と楽しく食事をしました。

また、ドローンでの上空からの



撮影、昔あそびやバルーンアートなどの体験も行われ、子どもたちの夢中になる姿が見られました。

今年度で閉校ということもあり、色々な世代の方々にご来場いただき、会場は沢山の人で賑わいました。

諏訪小は閉校してしまいましたが、これからも子どもたちには、地域との交流の大切さを伝えていきたいと思っています。

すわまつり運営委員長

方波見 裕美

手と手を
つなぐ
地域づくり

（地域福祉活動推進事業）



視覚障害など目の不自由な方へ…

視覚障害など目の不自由な方へ、点字ボランティアが点訳、音訳ボランティアが朗読した「社協だより」をお届けしています。希望される方は、銚田市社会福祉協議会ボランティア活動センターへお申込みください。